

■日時 2022年3月28日(月) 19:30~21:00

■会場 オンライン開催(Zoom)

※URLは開催日1週間ほど前にご登録のアドレスにお送りします。

■講師 玄田 有史 氏(東京大学社会科学研究所長)

■演題 「これからの『働く』：挫折と希望の先に」

■講演概要

「私(玄田有史)が経済学部を卒業した昭和63年頃はバブル経済の絶頂期で、日本の雇用システムは礼賛的でした。それがバブル崩壊と長期不況のなかで、今度は伝統的な雇用システムが諸悪の根源のように語られるのも見えました。労働に限らず、経済で真に問われるべきは、あくまで個人ではなくシステムです。そのシステムが、ときに人々に挫折をもたらすこともあれば、希望の光を灯すこともあります。働くことに困難を抱える人の背景を学びながら、同時に希望について考えてきたことで、今感じている「これからの『働く』」についてお話します。」

■プログラム

19:30~19:35 開会の辞

東京大学大学院経済学研究科 准教授
矢坂 雅充

19:35~20:35 ご講演

「これからの『働く』：挫折と希望の先に」

東京大学社会科学研究所長

玄田 有史 氏

20:35~20:55 質疑応答

20:55~21:00 閉会の辞



玄田 有史氏/1988年3月東京大学経済学部卒業。学習院大学経済学部教授等を経て、2007年より東京大学社会科学研究所教授。2021年より社会科学研究所長。経済学博士(大阪大学)。専門は労働経済学。著書に『仕事のなかの曖昧な不安』(サンデー学芸賞、日経・経済図書文化賞)、『ジョブ・クリエイション』(エコノミスト賞)、『働く過剰』、『人間に格はない』、『希望のつくり方』、『孤立無業(SNEP)』、『雇用は契約』等。共著に『ニート』、編著に『危機対応の社会科学』『希望学』、『人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか』等。

■参加費 無料

■参加いただける方

- ①東京大学経済学部 卒業生、教員 OB ②東京大学経済学部 教職員、学生
③①、②のご家族 ④①、②の方から事務局にご連絡を頂いた方

■参加申込

経友会ホームページ(<http://www.keiyukai.e.u-tokyo.ac.jp/>)の登録申込フォームにて、必要事項を入力、送信してください(定員 300名、先着順)。

締切：2022年3月21日(月)

■注意事項

SNS等での個人の発信はお控えいただけますようお願い申し上げます。

■お問合せ

東京大学経友会事務局
東京大学大学院経済学研究科・経済学部
Mail : keiyukai@e.u-tokyo.ac.jp
電話・FAX : 03-5841-5637